

教材: Vision Quest I Advanced

ページ: P.10. 11 Lesson 2 build-up 1

A 主語と動詞 / 目的語 / 補語

Q 「S, V, O, C 何ですか？」

- S (subject) ... 主語 ※ いのち名詞 「〜は, 〜が」 (1番目にくる奴)
- V (verb) ... 動詞 ※ 「〜する」等. 動作を表す単語 (2番目にくる奴)
- O (object) ... 目的語 ※ 「〜に, 〜を」を表す名詞
- C (complement) ... 補語 ※ 主語や目的語を説明する名詞や形容詞

B SV (主語 + 動詞) < 第1文型 >

4. Kate lives in New York (ケイトはニューヨークに住んでいます)

Q 「Mは何? どうやって区別しているの？」

Mとは修飾語の事。文の中にあってもなくても良い存在のこと。基本的には前置詞の後はMになると考えて良い。Mは文型に入らないからね!

C SVC (主語 + 動詞 + 補語) < 第2文型 >

5. He is famous (彼は有名だ)

一騎 「ココで大切な事は、S=Cの関係性である。」 彼=有名 という事だ。他にも、be動詞以外でもSVCの文型になる動詞がある。

o keep, remain, get, grow, look, seem, sound, smell ...

★ イコールの関係になる事より、be動詞を使った文では、「〜は、〜だ」「〜が〜だ」などの文になる。

D SVO (主語 + 動詞 + 目的語) < 第3文型 >

7. He bought a new watch yesterday (彼は昨日、新しい時計を買った)

Q それで、結局の所O(目的語)は何なのさ。

一騎 「例えば上の文で目的語が無かったら、(彼は昨日、買った)となる」「何を買ったのか言えよ! 分からんわ! 何の話だよ!？」となる訳です。「この(OOを)にあたるのが目的語です。」 ※前述の通り、名詞が来ると。

ex) I study English after school. (私は放課後に英語を勉強します)

E SVOO (主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語) < 第4文型 >

8. He gave Sally a ring. (彼はサリーに指輪をあげた)

Q O(目的語)が増えた。何だコレ?

一騎 「Dで扱った目的語は物だ、たね。OOを、て訳した。今日は人が増えたよ。OOに、て意味だ。」

★ S(〜が), V(〜する), O1(〜に), O2(〜を) となるぞ! 人→物の順だ!

9. He bought Sally a ring. (彼はサリーに指輪を買った)

上記では、人→物の順番と言ったが、逆にもできる。その際O1とO2の間にtoがforが入る。

8' He gave Sally a ring → He gave a ring to Sally (第3文型として扱う)

9' He bought Sally a ring → He bought a ring for Sally. (第3文型として扱う)

to = 相手が必要 (give, show, tell)には、そうする人がいる。for = 1人でできる (buy, cook, make) の違いだよ!